

令和5年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立東観中学校	校長名	臼井 正昭
児童・生徒数	264名	学級数	12学級 <small>(内特別支援学級3)</small>
		教職員数	23名

1 目指す学校像

「すべての生徒の学びの保障と、豊かな人間性、人権感覚を持つ生徒の育成」

- ・ 生徒・家庭・地域から信頼される学校
- ・ 安全で安心な学校
- ・ 確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体を育む学校
- ・ 人権が大切にされる学校
- ・ 気持ちの良いあいさつと活気に満ちた学校

目指す生徒像

- ・ 気づき・考え・行動する生徒
- ・ 夢や希望を持ち続け、難しいことでも失敗を恐れず挑戦し、最後までやり遂げようとする生徒
- ・ お互いの人権を大切に尊重する生徒
- ・ 地域を愛し、大切にしている生徒

2 現状と課題

素直で真面目な生徒たちである。落ち着いた環境の中で、授業や部活動、生徒会活動等に意欲的に取り組んでいる。また、仲間を大切にする気持ちや、献身的に人のために尽くそうとする気持ちが備わっている生徒たちである。しかし、実直で優しい気持ちをもっている一方で、自分の力を信じ、高い目標を設定して挑戦するといったことは苦手な傾向が見られる。学力面では、思考・判断・表現に係る力に、やや課題が見られる。

一方教員側では、授業力の向上と特別支援教育の充実が喫緊の課題であると考えている。生徒たちの自己肯定感を高め、仲間との対話を深めたり、より高い目標に向かって最後までやりきったりする力をつけるためにも、日常の授業を通してこうした力を培うことが大切であると考えている。

また校区内には児童養護施設があり、複雑な生活背景を抱えた生徒も在籍していることを踏まえ、すべての生徒が生き生きと学校生活を送れるよう、さまざまな教育活動を通して、きめ細かな指導を行っていききたいと考えている。

3 重点目標

- ① 夢や希望を持ち続け、難しいことでも失敗を恐れず挑戦し、最後までやり遂げようとする力を育成する。
- ② 人権尊重の精神に基づく仲間づくりを通して、生徒同士のつながりを深める取り組みを続けながら、人権意識や規範意識を高め、温かな人間関係を築く力を育成する。
- ③ 確かな学力向上のため、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、「わかる授業」の構築を図る。

4 具体的な行動計画

- ① 学びを実感できる授業づくり及び、家庭学習の充実
- ② タブレット端末、ICTを活用した授業研究の推進
- ③ 生徒同士の対話を重視した人権学習の充実と推進
- ④ 道徳教育及び特別支援教育の充実と生徒会活動の充実
- ⑤ 生徒の実態や適性、希望に基づいた進路指導の推進
- ⑥ 授業参観、学校だより、学年通信、学校ホームページによる積極的な保護者・地域への情報発信及び保護者と教職員が様々な課題について話し合う機会の確保
- ⑦ 学校運営協議会と連携した、教育活動の改善・充実
- ⑧ 教職員が生徒と向き合う時間の確保と働きやすい職場づくり
 - ・ 一人あたりの休暇取得日数を前年度比で年2日増やす。
 - ・ 月平均時間外労働の前年度比5%削減を目指す。
 - ・ 60分以内での会議の終了を目指す。